

警察庁によると、2024年の児童

買春事犯等の検挙件数は、不同意性交等及び不同意わいせつの増加により、2年連続で増え、過去10年で最多。

児童ポルノ事犯の検挙件数等は、いずれも2年連続で減少するも依然として高

水準で、2023年に新設された刑法規定の性的姿態撮影等処罰法違反の推移も注視しています。SNSに起因する事犯の被害児童数は、5年連続で減少するも依然として高水準で、小

子どもの性被害防止

学生の被害児童数は2015年に比べ3倍以上に増加しています。罪種別では青少年保護育成条例違反が減少傾向にある一方、重要犯罪等が増加傾向にあり、中でも不同意性交等、不同

意わいせつ及び略取誘拐が大半を占めています。被

害児童と被疑者が知り合うきっかけとなった最初の投稿者は被害児童が約7割です。安易な投稿をしないよう家庭内で話し合いましょう。

防犯一口メモ